

稼働開始 AI選別機を導入し 年間7200トン出荷計画



11月8日より冬ニンジンの選果を開始しました。新施設では、選果規模を日量30トンから60トンに増やし、年間で7200トンの出荷を計画しています。AI(人工知能)選別機と人の目と両方で効率的に選果を行います。定植時の暑さが影響し、生育は例年よりやや遅れていますが、品質は良好。熊本・広島・京都・岡山・兵庫に出荷されます。安全・安心な「きくちのまんま」ブランド確立を目指し、安定出荷を狙います。



洗浄されたニンジン



AI(人工知能)選別機でサイズごとに選別



効率的に積み上げ作業が行える
ロボットパレタイザー(右奥)の機械も導入

ニンジン 県内一の産地拡大へ注力

令和7年3月から菊陽中央支所敷地内に建設をすすめていた人参選果場が完成し、竣工式を11月4日に行いました。行政、JA関係者67人が出席し、来賓・役員らによるテープカットで完成を祝いました。

東組合長は「効率的かつ高品質な選果体制が整った。県内一のニンジン産地として、栽培面積の維持・拡大により一層力を入れたい」とあいさつしました。

令和7年2月に菊陽町、JA熊本果実連、JA菊池は農業活性化に向けた包括協定を結び、菊陽産のニンジンを使ったジュース「うまcarrot(キャロット)」を開発しています。町内の小中学校の給食でも提供され、児童にも飲みやすく仕上がっており好評です。



テープカット



清祓の儀



神事



東組合長あいさつ

ニンジンの魅力発信 に登場!



KAB毎週金曜日
7時54分から8時まで放送



リポーターの
ほのかちゃんが
ニンジンの魅力に迫る!

12月5日放送 『生産者 岩下勇介さん』

岩下さんの圃場でニンジンの収穫体験!
栽培の工夫などをわかりやすく紹介。



岩下さん



収穫体験

12月12日放送 『人参選果場』

人参選果場で選果作業を体験!
出荷までの流れを紹介。



選果作業体験



選果場スタッフみんなでタイトルコール



ニンジンのオレンジカラーが特徴



人参部会のみなさん

部会一丸となってニンジン生産頑張ります!